



MBニュース



【2016年中国産孟宗筍情報】

丸松物産株式会社

主産地の浙江省や福建省では、3月前半の気温が低くなった影響で、生産が四日程遅れて、3月中旬から開始しました。現時点での原料価格は、浙江省産は昨年並みですが、福建省産は昨年より約10%高くなっています。その要因の一つは、原料価格が安くなると、農民が山に収穫に行かなくなることのようにです。

新物の品質は、昨年末から天候による被害も受けず、更に、降雨量も多く孟宗筍の生育に適した天候になったことから、形状等は昨年より良くなりました。しかし、原料の取り引きはキロ単価であることから、農家では大きく育った竹の子を主に収穫しています。その為、冬筍用の小サイズ原料は、昨年に続き、少なくなると予測しております。

新物価格については、中国国内の不況の影響を受けて、資材費が約20%安くなっています。また人民元も昨年より安いことから、現地では、若干安くなると予測しております。

弊社では、引き続き産地情報を収集し、適正価格で仕入れる所存です。

【2016年産ザーサイ情報】

昨年のザーサイ市場は販売が低迷した事や、塩漬けザーサイの在庫も多く残っている事から、今年の相場は低迷すると予測した農家では、定植を積極的に行いませんでした。その為に栽培面積は昨年より約2割減少しています。更に、定植時の10月は干ばつになり、昨年12月と今年2月は大雪で、度重なる天候被害を受けた影響で、今期の原料は大きく成長しませんでした。このような状況の為、産地全体の生産量は、昨年より5割以上減産するものと予測されます。

現地の生産工場では原料の確保に奔走していますが、農家の売り惜しみもあり、新物原料だけでなく、ヒネ物原料まで高騰しており、新物原料価格は昨年より約4割高くなると予測されております。

ちなみに、今年の新物原料はサイズが小さいので、空芯やスジ等が少なく、品質面では昨年より良品とのことです。

【商務部 1-2月期中国消費市場は安定、4つの特徴】

商務部(省)は17日午前、定例記者会見を開き、中国の商務活動の状況をメディアに紹介し、記者の質問に答えた。沈丹陽報道官は、今年1-2月期、国内消費市場は総じて安定的に推移し、全国社会消費財小売売上高は前年同期比10.2%増の5兆3千億元(約91兆3千億円)に達し、前年同期比で0.5ポイント下落。価格要素を差し引いた実質成長率は9.6%であったと発表した。中国経済網が伝えた。

同部のモニタリングによると、1-2月期、重点小売企業5000社の販売額は前年同期比3.3%増となり前年同期比1.4ポイント下落したが、消費市場は総じて幸先の良いスタートを切った。

沈報道官は、1-2月期の中国消費市場は主に次の4つの特徴を呈しているとした。1つ目は、ネット販売、通信機器の販売がやや高い成長率を維持していること。2つ目は、サービス消費が持続的に加速していること。3つ目は、不動産市場の盛り上がりに関連の消費を牽引していること。4つ目は、消費価格が引き続き回復していること。(編集IM)

「人民網日本語版」2016年3月18日より抜粋

【お勧め商品情報】

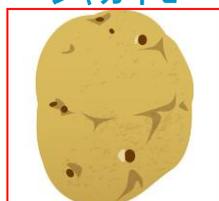
	商品名	おかずメンマ(鯉味) 1kg×10入り	
	商品説明	鯉節の風味を活かした土佐煮風の味付けで、短い原料を使用しているため、弁当のおかずや炊き込みご飯の具材、小鉢料理の一品でご使用できます。	
	主要原材料	メンマ・かつお削りぶし	
	賞味期限	製造日より6カ月	
	使用上の注意	賞味期限は、未開封の状態を基準としております。保存料は使用していませんので、開封後は冷蔵庫(10℃以下)に入れ5日以内にお召上がり下さい。	

MB・NEWS



旬な食べ物

ジャガイモ



5～6月は新ジャガ。

ヤングコーン



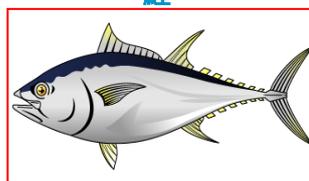
ヤングコーンはスイートコーンの栽培過程で出切るので、5～6月に収穫される。

たらの芽



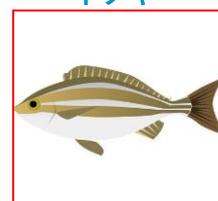
天然もののたらの芽の旬は4～6月上旬で、桜の開花時期と重なる。

鰹



鰹の旬は5月の初鰹と9月の戻り鰹。

イサキ



ほぼ通年出回るが夏が産卵期で、その直前の5～6月が最も美味しいとされる。

2016年5月カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
1	2	憲法記念日 3	みどりの日 4	こどもの日 5 わかめの日	6	7
ゴーヤーの日 8	9	10	11	パンの日 12	13	14
15	16	17	ホタテの日 18	19	20	21
22	23	伊達巻の日 24	25	26	小松菜の日 27	28
蒟蒻の日 29	30	31				

今日は何の日？食べ物編

5日、子どもに欠かせないミネラル、カルシウムなどを多く含むわかめをもっと食べてもらうのが目的。

8日、沖縄県では5月を境にしてゴーヤー(ニガウリ)の出荷量が増えること、『ゴ(5)ーヤ(8)』の語呂合わせから。

12日、1842(天保13)年4月12日、江川太郎左衛門という代官が、「兵糧パン」と呼ばれるパンを日本で初めて本格的に製造。パンの日は、この日を記念して作られた。

18日、日付はホタテの『ホ』を分解すると『十八』になることから。

24日、日付は戦国の武将として名高い伊達政宗公の命日(5月24日)が由来。

27日、日付は『こ(5)まつな(27)』の語呂合わせから。

29日、日付は『こ(5)んに(2)やく(9)』の語呂合わせから。